



# 風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.15

令和2年1月10日発行



3学期3日目の1月9日、校内書き初め会を行いました。1・2年は硬筆（鉛筆）、3年以上は毛筆の課題です。講師として、書写の時間や公民館の書き初め大会でもお世話になっている地域の方に指導していただきました。コンクールに出品するための最後の機会なので、子どもたちは一画一画、真剣なまなざしで紙に向っていました。

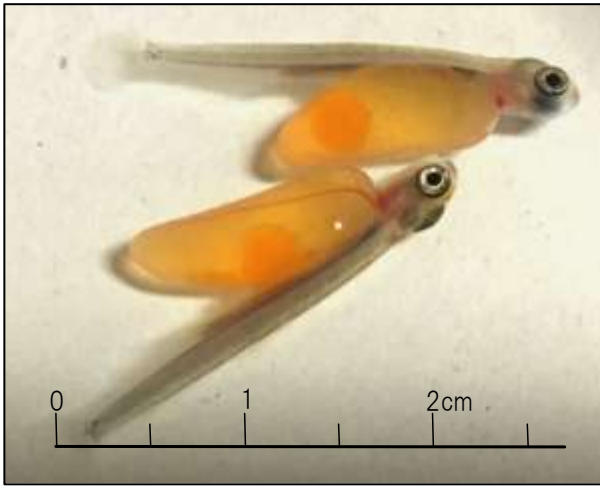
1月7日の始業式では、ボーイスカウトの野営（キャンプ）時の言葉「**撤営（てつえい）までが設営（せつえい）である**」を引用し、3学期の心構えについて話しました。

※設営：野営地でテント等を設置したり、よりよく過ごすために工夫・改善したりすること

※撤営：野営前の状態に片付け、撤収すること

3学期というと、1年のまとめや次の学年・学校へのステップと言われることが多いのですが、授業日数では52日、年間の4分の1の期間があります。だから、その学年・学級でやることはまだまだたくさんあります。それをしっかり最後までやり切ることが大切であり、そのことが1年間の学校生活のまとめとなるのだと思います。

また、今もよい学級だからこのままでいい（場合によっては、4月になれば次の学級だからそれまで我慢すればいい）と考えるのではなく、最後の終業式・卒業式の日まで、よりよい学級・学校、よりよい人間関係にしようと工夫し、力を合わせて頑張ってもらいたいのです。



## サケの稚魚が順調に成育中

1月20日に採卵・授精したサケの卵が年の瀬の12月29日に最初の数匹がふ化すると、数日の内に一斉にふ化しました。

今では、左の写真のように体長約2.5cmで、体の割には腹に大きな臍嚢（さいのう：栄養袋）を抱えた無数（推定2000匹以上？）の稚魚が水槽に設置された四角いかごの中で、みな同じ方向を向いてひしめき合っています。よく見ると、左右のえ

らの間に赤い点のような心臓が活発に動いているのが分かります。懸命に生きる力強さや命の神秘性を感じます。

腹の袋に栄養があるおおよそ1か月間はえさを食べないのであまり泳ぎませんが、それがなくなると活発に泳ぎ回るようになります。3月12日の放流日まで、3・4年生が観察と世話を続けていきます。



## お願い



### イノシシに注意！

8日午後4時頃、子どもたちが下校中、高速道路の高架橋下付近の木浦川対岸（鬼舞側）でイノシシを目撃しました。すぐに子どもたちはこのことを公民館職員へ伝え、能生事務所へ情報提供することができました。幸い、イノシシがいた場所が対岸で、子どもたちも適切な行動ができたため被害はありませんでした。学校では改めて指導しましたが、家庭・地域の皆様にも情報共有と注意喚起をお願いします。



### 荒天時の登下校について



冬になり、子どもたちは吹雪など荒れた天候の中を通学しています。歩きにくい上、傘や防寒具のフードで視界も狭くなり、危険に気がつきにくくなりがちです。子どもたちを温かく見守っていただくとともに、車等ですれ違う際は、速度を落とすなど、十分にお気を付けください。

また、各家庭では、しっかりとした身支度をさせ、一声掛けて送り出してください



1月14日（月）租税教室（5・6年）  
21日（火）児童朝会  
23日（木）24日（金）学力検査  
31日（金）スキー教室

2月 3日（月）豆まき集会  
10日（月）フリー参観、キャリア教育  
18日（火）学校・地域交流会  
19日（水）移行学級